



安全ニュース

令和3年7月号
発行：安全委員会

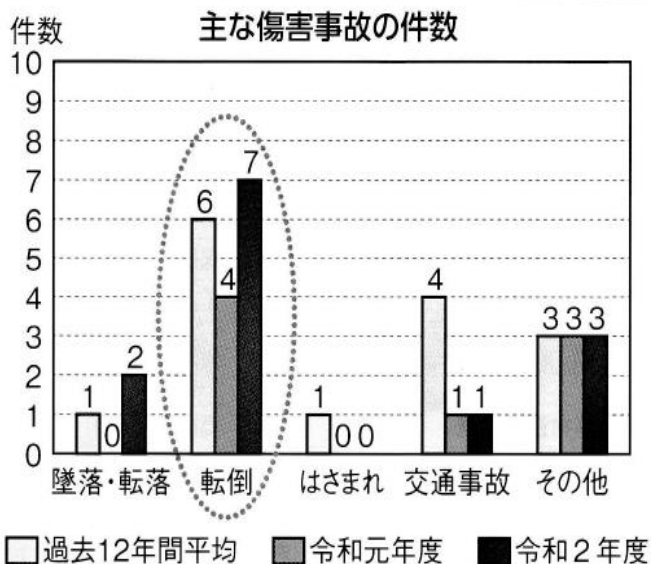
<7月は安全・適正就業月間です>

令和2年度の傷害事故原因の1位は「転倒」です。
みなさんは「ヒヤリ」「ハッ」としたことはありませんか？
それは事故につながる危険のサインかもしれません。

慣れや過信からくる無意識な行動がきっかけとなり、事故が起こっているのではないのでしょうか？普段から就業途上や就業先に潜んでいる危険個所を確認し、気をつけなければいけないと意識的に行動をすることが事故防止につながります。

是非、事故ゼロで元気に就業が続けられるように頑張りましょう。

今年度も安全就業でSTOP! 傷害事故



転倒リスクチェック表

みなさん、思い当たることはありませんか？

- 過去1年間に転んだことがある
- 歩く速度が遅くなったと思う
- 杖を使っている
- 背中が丸くなってきた
- 毎日薬を5種類以上飲んでいる
- つまづくことがある
- めまい・ふらつきがある

転倒リスクが高まっております。転倒防止体操で、転倒リスクを軽減しましょう。

<油断しないで！感染症予防対策の継続を>

感染力の高く重症化リスクの高い変異株が猛威を振るっております。
ワクチン接種が済んだ会員の方もいらっしゃるかと思いますが引き続き感染予防対策を継続しましょう。

- マスクを着用する
- こまめな15秒手洗いを励行する
- 他の人と十分な距離（2m）を取る
- エアコンを併用しながらこまめに換気
- 手指の消毒の徹底
- 「密閉・密集・密接」を回避する



<熱中症に注意しよう！！>

熱中症予防行動のポイントをご存じですか？

屋外に限らず屋内でも熱中症は多く発生します。

元々体の水分量が少なく、脱水になりやすかったり、持病があったりと年齢と共に熱中症になりやすくなってきているのです。

熱中症の症状は瞬時に重症化し、命も危険にさらされます。

感染症予防対策を踏まえて、以下の予防方法を実践しましょう！

暑さをさけましょう

⇒室温が28℃を超えないようにしましょう。

① のどが渇いていなくても、こまめに水分補給をしましょう

⇒時間を決めて水分補給をしましょう。就寝前も忘れずに。

② 適宜、マスクを外しましょう

⇒十分な距離（2m以上）が確保できる場合は外しましょう。

③ 健康管理し、暑さに備えた身体づくりをしましょう

⇒適度な運動をしたり、健康チェックを日頃から行いましょう。

④ 周りの人にも気配りをしましょう

⑤ 少しでも異変を感じたら病院へ行きましょう

⇒症状は急激に進行しますので我慢せず受診しましょう。



<食中毒を防ごう！！>

●ポイントを押さえてしっかり予防「食中毒3原則」

原因菌を

その1 「つけない」（清潔・消毒）
手洗いをしっかり行いましょう。
食品は小分けに包みましょう。

その2 「ふやさない」（迅速・冷却）
調理済みの食品はすぐに食べましょう。
適切に冷蔵庫や冷凍庫の温度管理をしましょう。

その3 「やっつける」（加熱）
中心部までしっかり加熱をしましょう。
温め直しも同様です。
調理器具は消毒しましょう。